

要領別紙様式２号（令和元年８月から９月の前線に伴う大雨（台風第10号、第13号、第15号及び第17号の暴風雨を含む。）及び台風第19号等被災産地施設整備等対策）

都道府県事業実施状況報告書及び評価報告書

(宮城県 令和５年度)

市町村名	事業実施 主体名	対象作物・ 畜種等名又は 卸売市場 名	成果目標の 具体的な内 容	事業実施後の状況						成果目標の 具体的な実 績	事業内容 (工種、施 設区分、構 造、規格、 能力等)	事業費 (円)	負担区分（円）				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
				計画時 (令和元 年)	事業実施 年（令和 ３年）	１年後 (令和４ 年)	２年後 (令和５ 年)	目標値 (令和５ 年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他				
角田市	みやぎ仙南 農業協同組 合	土地利用型 作物（水 稲）	被災前に比 べて10aあた りの乾燥・ 調整・収 摺・出荷等 時間を10.7% 削減	10aあたり 直接労働 時間20.64 時間 うち乾 燥・調 整・収 摺・出荷 等時間 1.50時間	10aあたり 直接労働 時間21.89 時間 うち乾 燥・調 整・収 摺・出荷 等時間 0.13時間	10aあたり 直接労働 時間21.69 時間 うち乾 燥・調 整・収 摺・出荷 等時間 0.12時間	10aあたり 直接労働 時間24.06 時間 うち乾 燥・調 整・収 摺・出荷 等時間 0.11時間	10aあたり 直接労働 時間19.30 時間 うち乾 燥・調 整・収 摺・出荷 等時間 0.16時間	103.7%	計画時の乾 燥・調整・ 収摺・出荷 等時間から 1.39時間減 少し（削減 率92.7%）、 目標達成率 は103.7%と なった。	穀類乾燥調 製貯蔵施設 の整備 総処理量 2,000t 貯蔵乾燥ビ ン方式	1,087,900,000	494,235,000	0	0	593,665,000	令和3年8月25日	成果目標については、達成率103.7%で達成することができた。一方利用率は重量ベース40.2%の実績となり当初計画を大きく下回った。この要因については、当初の推進計画及び推進手法等において見通しに不備があり、施設利用率が低くなったものであります。 今後の施設利用拡大の取組みについては、担い手の高齢化も進んでおり、令和4年の利用者からも収穀処分等大幅に労力を削減する事ができると評判が良かったことに加え、これまでの推進計画を抜本的に見直し、令和5年度に策定した営農経済成長プログラムソリューションを実践し、利用アタックリストにある未利用者に対しニーズの掘り起こしを行うと共に、利用に対するメリット提案を行い合理的な推進体制を構築し、令和8年度までに70%以上の利用率の達成を図ります。	成果目標は達成したものの、施設の利用率が重量ベースで40%と低調であること、改善策については未利用者への積極的な働きかけ、担い手への集約化を強固に進めていくべきであるため、事業実施主体を指導する必要がある。	
大郷町	新みやぎ農 業協同組合	土地利用型 作物（水 稲）	被災前に比 べて10aあた りの乾燥・ 調整・収 摺・出荷等 時間を3.4% 削減	10aあたり 直接労働 時間18.32時間 うち乾 燥・調 整・収 摺・出荷 等時間 1.17時間	10aあたり 直接労働 時間17.27時間 うち乾 燥・調 整・収 摺・出荷 等時間 0.12時間	10aあたり 直接労働 時間17.26時間 うち乾 燥・調 整・収 摺・出荷 等時間 0.11時間	10aあたり 直接労働 時間17.28時間 うち乾 燥・調 整・収 摺・出荷 等時間 0.13時間	10aあたり 直接労働 時間17.19時間 うち乾 燥・調 整・収 摺・出荷 等時間 0.04時間	92.0%	計画時の乾 燥・調整・ 収摺・出荷 等時間から 1.04時間減 少し（削減 率88.9%）、 目標達成率 は92.0%と なった。	穀類乾燥調 製貯蔵施設 の整備 総処理量 2,000t 貯蔵乾燥ビ ン方式	968,000,000	436,391,000	0	87,278,000	444,331,000	令和3年8月30日	成果目標については、達成率92.0%でありおおむね達成することができたが、カンントリーエレベーターを併用して利用している生産者がいるため達成までには至らなかったため、引き続き全ての面積を利用してもらうように推進を行っていく。 事業の実績については、目標面積である300haに対して約230haの実績であったため、事業効果が計画策定時の91,750千円を下回る58,570千円という実績となった。また、昨年同様に燃料価格高騰により燃料費や光熱費の費用が増加し、生産コスト削減効果の金額が減少した。利用推進の効果もあり、目標面積に近づいてきているので引き続き目標面積を達成できるように推進を図っていく。	成果目標はおおむね達成した。また、施設の利用率も、重量ベースで76.4%と年次を追うごとに増加している。引き続き未利用者への積極的な働きかけ、担い手への集約化を進める必要がある。	

都道府県平均達成率	96.0%	総合 所見	評価対象地区である２地区とも成果目標を達成した。利用率が低い１地区については、未利用者への積極的な働きかけ、担い手への集約化を強固に進めていくべきであるため、事業実施主体を指導する必要がある。
-----------	-------	----------	--